

お知らせ

INFORMATION

No.2017-09
2017年2月

病体生理研究所

新規受託開始のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたので案内いたします。

何卒、ご利用頂けますようご案内申し上げます。

敬具

記

【新規受託開始について】

◆ ラコサミド [16472]

※項目情報裏面参照

《受託開始日》：2017年4月3日（月）より

【新規項目情報】

項目名称	ラコサミド (抗てんかん薬血中濃度)
コード	16472
検体材料	EDTA-2Na 血漿 0.3mL
保 存	絶凍
採取容器	No.11 → No.7
検査方法	LC/MS/MS
基準値・単位	設定無し $\mu\text{g/mL}$
所要日数	4~7日
実施料 (区分)	470点 (B001 2 特定薬剤治療管理料) *1
主な商品名	ビムパット®錠
備 考	*1 てんかん患者であって抗てんかん剤を投与しているものに対して投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定できます。 てんかん重積状態（全身性けいれん発作重積状態）の患者に対して、抗てんかん剤の注射等を行った場合は、所定点数にかかわらず、1回に限り740点を特定薬剤治療管理料として算定します。

ラコサミド（ビムパット®錠）は2016年7月に日本で製造販売が承認された最も新しい抗てんかん薬です。

わが国におけるてんかんの有病率は人口1,000人当たり4~9人（人口の0.4~0.9%）とされ、総数約100万人の患者が存在する、最も発生頻度の高い神経疾患です。一般にてんかん患者は発作の抑制のため長期の薬物療法を必要としますが、うち20%程度の患者はコントロールが不良で難治性てんかんと呼ばれています。

ラコサミドは既存の薬物とは異なる作用機序を持つ抗てんかん薬であり、電位依存性ナトリウムチャネルの緩徐な不活性化を選択的に促進することにより過興奮状態にある神経細胞膜を安定化させ、抗けいれん作用を発揮します。そのため、他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の、部分発作（二次性全般化発作を含む）に対する抗てんかん薬との併用療法に適応となります。

ラコサミドを経口投与すると血中濃度が0.5~4時間でピークに達し、その血中半減期は約14時間です。しかしながら、肝機能障害患者では血中半減期が延長し、またクレアチニンクリアランスが30mL/min以下の重度および末期腎機能障害患者も未変化体の排泄遅延に伴ってラコサミドの血中濃度が上昇する可能性があることから、投与量・投与間隔の調節など慎重な管理を要します。

服薬コンプライアンスの確認、ならびに副作用回避のためにもラコサミド投与中の血中濃度測定は重要と考えられます。

以上